
静脈空

嘩月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

静脈空

【Nコード】

N3923Y

【作者名】

嘩月

【あらすじ】

青黒い空、根付くように伸びて、脈打つ。
静か過ぎる雨は、泥のように降り注ぐ。
ああ、鼓動が消えない。

立冬に震え、寒さに青は映える。
景色が凍るのは、寒空の所為？
降らない雪と悴む手では、下がる温度に気付けない。

どくどく、と鳴く空。
開いた傷口からは雨。
激しいばかりの、方向性の無い怠惰。
空を眺めては、そんな事ばかり考えていた……。

空、青、静、脈、血、黒、腕。

冷え性な体は、冷え症な心は、病んでしまった。
動かせない指先で、ぎこちなくなぞった。
窓の外に映る空と、窓の内に映る腕を重ねて、何度もなぞった。

冬に音は消えるから、小さな空の鼓動が聞こえる。
やがて腕を見て、流れる雨に優しさを覚えるだろう。
降り注ぐ使い古された血に、笑みを溢すだろう。

嘆きを吐いても意味は無い。
白く染まり、消える。

静かに脈打つ空、訝。
虚ろいだ冬景色。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3923y/>

静脈空

2011年11月10日06時19分発行